

令和4(2022)年度

学修状況等の把握に関する  
アンケート結果における改善策

(短期大学部版)

生活文化学科

幼児教育学科

修文大学

修文大学短期大学部

IR 本部

## <短期大学部 生活文化学科>

### 1. 授業外学習時間について

授業外学習は学生の授業の履修状況から算出すると、1週間あたり20時間以上は必要と考えられる。本調査によると、学生の平均学修時間は5時間から11時間であり、必要時間には遠く及ばず、単位制度の実質化が図られていないことが明らかとなった。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するためには、教育課程編成実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき作成された各科目のシラバスに記された学習課題を必要な時間をかけて、実施する必要がある。

生活文化学科の学生がより目的意識をもって取り組むためには、授業科目における授業外学習を、資格取得と関連付けることが大切だと考えられる。学生からの希望にもあった、サポート体制や学習環境を充実させることで、授業外学習時間の確保を目指したい。

オリエンテーション時には、教員、学生双方に単位制度の実質化と授業外学習について理解するようなガイダンスも、より丁寧に実施する必要がある。

### 2. 学習のサポートについて

各科目におけるオフィスアワーを充実させ、学生の学びのニーズに応える必要がある。リメディアルにおいても質問を受け付ける時間を設置する。

短大生が使いやすいラーニングコモンズ（自習室）の設置が必要である。

## <短期大学部 幼児教育学科>

### 1. 適切な学習時間の「確保」について

予習や復習・宿題を提示する上で、次のことを検討していく。

- ① Google フォームで、一部で実行している小テストを、反転学習の機能を期待して予習としても、実施を拡大・促進する。
- ② 学生のPC購入を従前より強く推奨する。
- ③ 公務員対策の部屋（classroom実装済）については、対策講座の欠席率の高さからすると、受験対策ニーズは貴重な、しかしニッチなニーズであると考えられる。会員制サロン化を進める。

### 2. 学内の自習室について

5203 教室を自習室にすることを引き続き検討したい。現在、作業中でもある。

### 3. 三部3年生の学習時間が短いことについて

三部3年生の学習時間が平均をも下回り短いのは、ピアノ練習を求める授業がないためである。

全学年、それ以外の予習復習時間は少ないのが実態と考えられる。

これらのことを踏まえ下記のことを検討していく。

- 2年次後期の開講分を3年次前期へ移動する